

平成17年度 事務事業評価表						
記入年月日	平成17年4月26日		記入者		内線	2336
部名	財務部	課名	管財課		課長名	新妻隆之
事務事業名	庁用自動車維持管理費（ガソリン）＜環境＞					
予算上の事務事業名						
1 総合計画における位置づけ			施策コード			
基本目標						
政策名						
基本施策名					事業開始年度	
施策名						
2 実施根拠及び関連法令・条例等						
3 個別計画の概要			概要			
計画名						
計画年次		年度～		年度		
4 事業形態の区分						
5 事業概要						
(1) 事業の目的（何のために行うのかまたはもたらしたい成果）				(2) 対象（誰、何）		
庁用自動車購入費事業の低公害車（ハイブリッド自動車・天然ガス自動車）導入とタイアップした事業で、燃料消費を抑制し、大気環境の保全に配慮する。			相模原市庁用自動車			
(3) 平成16年度事業の内容（活動）・・・いつ、どのような方法で実施した内容（活動）なのか。						
①低公害車導入推進事業 軽貨物車（天然ガス自動車）…5台						
②燃料費						
平成14年度 160,443円 <small>（注）</small>						
平成15年度 141,406円 <small>（注）</small> （天然ガス140m ³ ）						
平成16年度 131,430円 <small>（注）</small> （天然ガス1,191m ³ ）						
6 関連・類似事業や他市の状況						
7 事業費の推移	〔単位：千円〕					
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)	
事業費	17,540	16,308	15,830	18,365	18,365	
一般財源	17,540	16,308	15,830	18,365	18,365	
受益者負担金	0	0	0	0	0	
その他の特定財源	0	0	0	0	0	
人件費の合計	839	839	807	807	807	
事業コスト合計(a)	18,379	17,147	16,637	19,172	19,172	
8 事業効率・・・（複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業）						
主たる事業名	低公害車推進事業			対象名称 (単位)		
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)	
事業コスト(主たる事業)	6,836	3,984	9,400	3,800	6,836	
対象数	3	2	5	2	3	
単位あたり経費(円)	2,278,667	1,992,000	1,880,000	1,900,000	2,278,667	
前年度比		0.87	0.94	1.01	1.20	

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化					
指標名 (単位)	低公害車導入率		指標式と指標の説明	低公害車保有台数／保有台数（管財課）×100 公用車の低公害車導入率により効果を表す。	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度（目標）
実績	29.0	33.0	42.0		
目標	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0
目標達成度	0.58	0.66	0.84		
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標					
指標名 (単位)	燃料消費率		指標式と指標の説明	当該年度燃料使用料／前年度燃料使用量×100 低公害車の導入による燃料消費率により効果を表す。	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度（目標）
実績	103.0	96.0	92.0		
目標	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0
目標達成度	114.4	106.7	102.2		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない]					
B	<input type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない]					
B	<input checked="" type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い]					
B	<input checked="" type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 [有・無]					
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価					
(1) 自動判定結果					
★★★★	[★★★★]：良好な状態を維持する事業				
	[★★★★]：概ね良好な状況である事業				
	[★★]：見直しを行う必要がある事業				
	[★]：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 担当課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	拡充・充実		今後も環境保全の観点から、低公害車推進事業とタイプアップし、燃料消費を抑制し進めていきたい。	
	<input type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策 公用車保有台数の適正化及び小型貨物車から軽自動車への更新を図る。			14 課題として認識されたこと 天然ガス自動車については、給油所が市内に1箇所しかなく使用範囲が限定されてしまうため、導入に際して検討する必要がある。 また、ハイブリッド自動車については、現在、市販されている車種が小型乗用車しかなく、防災等の使用を考えると、導入台数に限界がある。		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実		燃費消費抑制について推進する。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			